

【平成 24 年度・後期学期・ミクロ経済学 I・課題 5】

☆ 締め切り：平成 25 年 1 月 8 日（火）もしくは 9 日（水）講義開始時

【問 1】次のようにある財への需要と供給が与えられている場合について(A)～(C)に答えなさい。

$$\text{需要: } Q_d = 10 - 0.5P$$

$$\text{供給: } Q_s = -2 + P$$

- (A) この市場の需要および供給直線をグラフに作図し、均衡価格および均衡数量を求めなさい。
- (B) いま、供給線が $Q_s = -5 + P$ にシフトしたとき、新しい均衡価格均衡数量を求めなさい。
- (C) (A)、(B)で求めた 2 つの均衡間で需要の価格弾力性を求めなさい。(A)でもとめた均衡を基準とすること。
- (D) (C)で計算した結果から、需要は弾力的か非弾力的かを判断し、価格の上昇により、企業の総収入(TR)が上昇するかどうか議論しなさい。
- (E) (A)、(B)でもとめたそれぞれの市場均衡での、消費者余剰、生産者余剰をそれぞれもとめなさい。
- (F) 仮に、供給関数が(B)のようにシフトする前の市場で、政府が下限価格を $P^{\#} = 9$ と規制した場合、
- 1) この市場では、超過需要・超過供給のいずれかが存在するかどうか、改めて市場の状況を図に示しながら説明しなさい。存在するならばその数量を求めなさい。
 - 2) 1)の結果に基づき、規制の下での消費者余剰・生産者余剰を求めなさい。